

「労働保険」とは？

東京メトロポリタン税理士法人
労務法務チーム 杉本 美樹

●労働保険って何だっけ？

実は、労働保険とは事業主も労働者も安心して働くことができるために必要な保険なのです。

労働保険は、法人・個人を問わず労働者を一人でも雇っている事業主さんは必ず加入しなければなりません。この労働者にはパートやアルバイトも含まれるんですね。

実は、労働保険って2つの保険を合わせていうのです。

労働保険は「労災保険（労働者災害補償保険）」と「雇用保険」の2つの保険を合わせていうのですね。

それぞれの保険給付は、労働基準監督署と公共職業安定所（ハローワーク）で個別に行われるのですが、保険料の申告や納付については2つの保険を1つのものとして取り扱っているのです。

●じゃあ具体的にどんな保険なの？

（1）労災保険（労働者災害補償保険）とは

労働者が仕事中にケガをしたり、通勤中に事故にあったり、あるいは不幸にも死亡された場合に、労働者やその家族を保護するために必要な保険給付を行なうものです。

（2）雇用保険とは

労働者が失業してしまったときに、生活を支える資金や次の就職を探すための資金として支払われます。俗に「失業保険」と言われることもありますね。

また、**定年後の再雇用などによって給与が下がってしまった場合**、あるいは**育児や家族の介護のために会社を休んで給与がもらえなかったとき**などに、労働者を援助するために必要な保険給付を行ないます。

●そして、労働保険の最大のメリットとは...？

何よりも企業にとっては、助成金を利用できるのです！

助成金はどの企業でも何かしら利用できるものがあり、利用しない手はないでしょう。

雇用系の助成金（給与の一部負担など）の受給要件には、必ず労働保険に加入していることが条件になっているのです。

現在、まだ加入されていない事業主さんは、どの程度の保険料負担が発生するのかを把握し、段階的にでも加入していく準備をしておくことをおすすめします。

人材不足の時代において、基本的な法定福利制度が備わっていないところに優秀な人材がくるでしょうか？

そう考えれば事業主にとっても、労働者にとってもメリットがある保険だと思います。

これから入ろうかなと考えられている方や、ご不明な点などございましたら、私または弊社担当者までお問い合わせ下さい。